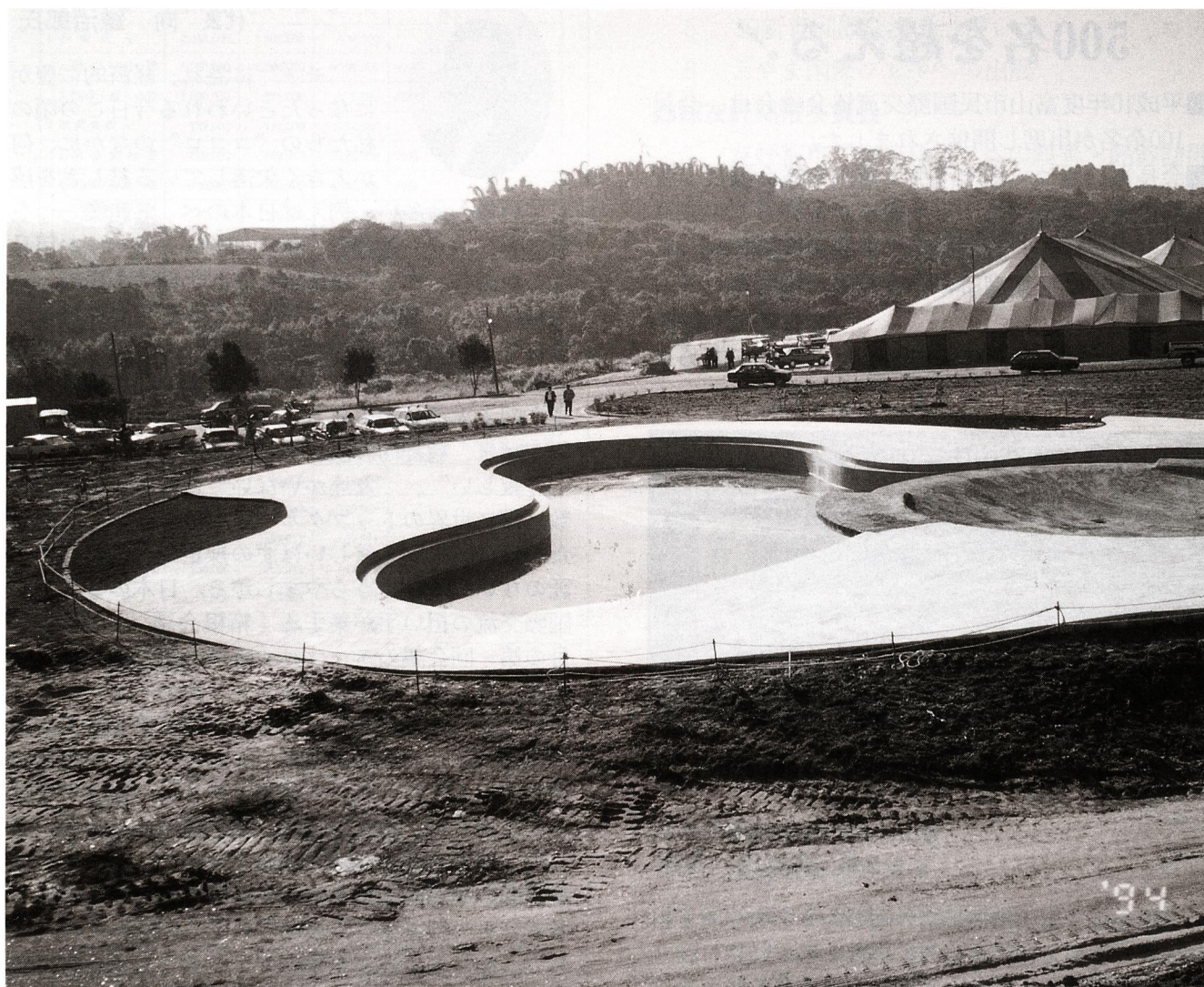
 T C A — NEWS —	Vol.21 夏 号 発 行 富山市民国際交流協会 広報委員会 〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号 富山市国際交流センター(市図書館1階)内 TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807 発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代
--	---



モジ文協総合運動場

モジ・タス・クルーゼス市郊外にあります。
この、総合運動場の用地購入にあたっては富山市が協力したものです。
(昭和58年10月)

モジ文協：モジ文化体育農事協会（日系人団体）
今年は、日本人移民が南米ブラジルに到着してから90周年を迎えました。

会 員 募 集

広 げ よ う 友 情 の 輪

平成10年度 富山市民国際交流協会総会

Let's Have Many Friends in the World!

協会会員 500名を超える!

- 平成10年度富山市民国際交流協会総会は、会員100余名が出席し開催されました。
- 会長あいさつ、富山市長・富山市議会議長の祝辞の後、総会次第により議事が進められ平成9年度事業報告、決算報告、平成10年度事業計画、収支予算、任期満了に伴う役員が承認されました。
- 講演会の後、懇親会で会員相互の親睦を深めました。



あいさつ

富山市民国際交流協会
会長 久保田 照雄

当協会は、富山市民と諸外国の人々との交流と相互理解の促進を目的として、平成5年1月13日設立され、昨年度はめでたく5周年記念式典を終えることができました。

個人会員数においては、設立以来始めて500名を超える521名を数えています。富山市における国際交流の担い手として着実にその基盤を固めてきております。

また、当協会の最大イベントであります「国際交流フェスティバル」が盛大に行われ、世界の国々の生活や文化の紹介を通して、国際交流の重要性を広く市民にアピールすることができました。

本協会といたしましては、今後とも「市民一人一人が主人公の国際交流」を改めて認識し、いろいろな分野から国際交流を進めていきたいと考えております。

と き 平成10年5月11日
ところ 富山県民会館国際会議場

記念講演

「人を啓き、地域を開き、未来を拓く」

ナセル文際交流協会
代表 向 謙治郎氏



“モノ”に溢れ、経済的に豊かになったといわれる今日この頃の私たちの“ココロ”のなかに、何か大きく欠落している貧しさを感じている人は多い。例えば日本のペット産業一つを見ても、ペット美容室、DCブランドのペット用品などが溢れ、ペット産業は年間5千億円の規模。成人病のペットも増大している。しかし世界を見るとGNP（国民総生産）がこの金額以下の国々が約70カ国もある。そのペットだけで一国の経済規模全体を上回る大消費国の日本人の“ココロ”に空洞化現象が起き、精神的砂漠化が進んでいる。

“寂しい”、“友達がいない”と青少年の自殺者数は常に世界のトップグループをゆき、そして、私たちは今、これら貧しいはずの裸足の子供たちの屈託のない明るさをうらやましがる。日本の各地から国際交流の担い手が集まる「箱根会議」。1988年5月の第一回会議のテーマは「国際交流と魅力ある豊かさ」だった。その後「共生」、「民のイニシアティブ」とテーマが変遷し、昨年10年間の幕を下ろした「箱根会議」。この10年間に、どれだけココロは豊かになったのだろうか。と参加者たちは一様に考え込んでしまった。私たちは今、深い反省を込めて、第二次「箱根会議」開催の準備を進めている。そして最終回の第10回会議の提言をかみしめている毎日である。その提言はこう述べている。「開かれた人として、そして、自らを啓いていく人として、常に自己啓発していく姿を、私たちは国際交流にかかわる人に見るだろう。（中略）交流の結果、協働して社会を変革する力となることを互いに認め合い、励まし合うものだけが、人を啓き、社会を開き、未来を拓く交流の担い手といえるのではないだろうか」と。

プロフィール

- ・ナセル・オープンドア日本協会代表／ナセル文際交流協会代表／日本通訳協会代表／カテナ文際交流センター所長他
- ・長年、英語教育を含め、広く国際教育に携わる。日本の各地で活躍するさまざまな分野の国際交流の担い手が参集する「箱根会議」国際交流担い手ネットワークを創設し、事務局長を務める。
- ・主な著書：「英語通訳への道」「ビジネス英会話教本」「高校生のための交換留学」他

総 会 議 事

◆議案第 1 号 平成 9 年度事業報告

- ・富山市民国際交流協会設立 5 周年記念式典
- ・国際交流フェスティバル'97（5 周年記念事業）
などを報告。

◆議案第 2 号 平成 9 年度決算報告

〈収 入〉

(単位: 円)

科 目	当初予算額	収入済額	増 △ 減	備 考
1 会 費 収 入	2,448,000	2,582,000	134,000	
1 個 人 会 費	1,368,000	1,504,000	136,000	501口、会員数 486名
2 団体・法人会費	1,080,000	1,078,000	△ 2,000	108口 団体数 72団体
2 事業費収入	759,000	714,500	△44,500	
1 総 会 参 加 費	160,000	140,000	△20,000	70名
2 国内研修参加費	200,000	190,000	△10,000	19名
3 '98新春国際交流のつどい参加費	145,000	106,500	△38,500	73名(学生)、70名(一般)
4 日本語受講料	90,000	82,000	△ 8,000	17名
5 中国語受講料	64,000	54,000	△10,000	27名
6 ハンゲル受講料	20,000	20,000	0	10名
7 翻 訳 手 数 料	80,000	122,000	42,000	32件
3 補助金収入	3,600,000	3,600,000	0	
1 富山市補助金	3,600,000	3,600,000	0	
4 受託料収入	4,972,000	4,870,600	△101,400	
1 富山市受託料	4,972,000	4,870,600	△101,400	外国語による相談員・夜間警備受託料
5 寄 付 金	20,000	10,000	△10,000	
1 寄 付 金	20,000	10,000	△10,000	
6 雑 収 入	230,000	252,611	22,611	
1 雑 収 入	230,000	252,611	22,611	
7 繰 越 金	3,000	3,831	831	
1 繰 越 金	3,000	3,831	831	
合 計	12,032,000	12,033,542	1,542	

〈支 出〉

(単位: 円)

科 目	当初予算額	支出済額	増 △ 減	備 考
1 管 理 費	6,438,000	6,515,297	77,297	
1 会 議 費	602,000	548,643	△53,357	総会・パーティー・理事会費用
2 人 件 費	4,736,000	4,644,701	△91,299	職員2名・警備員1名分
3 需 用 費	1,100,000	1,321,953	221,953	印刷製本費・郵便料・消耗品費・備品費等
2 事 業 費	5,551,000	5,464,443	△86,557	
1 総務企画事業	2,365,000	2,292,561	△72,439	国際交流フェス・新春のつどい・国内研修
2 姉妹友好都市交流事業	750,000	737,363	△12,637	海外研修・奨学金・訪問団との交流費
3 地域交流事業	150,000	182,726	32,726	日本伝統文化の紹介・地間で歩く世界の旅
4 ボランティア事業	100,000	85,477	△14,523	養成講座・ホームステイ受入・お嫁さん交流
5 広 報 事 業	1,085,000	1,079,918	△ 5,082	TCA-NEWS印刷費・送料等
6 国際教養事業	261,000	275,498	14,498	語学教養講座・外国人指導員との講習・講演会
7 語学講座事業	840,000	810,900	△29,100	日本・中国・ハンゲル語学講座費
3 予 備 費	43,000	0	△43,000	
1 予 備 費	43,000	0	△43,000	
合 計	12,032,000	11,979,740	△52,260	

収入済額 12,033,542 円－支出済額 11,979,740 円＝残額 53,802 円（翌年度へ繰越）

監 査 報 告 書

平成 9 年度、富山市民国際交流協会の決算について、監査したところ正確に処理されており、決算諸表・会計帳簿も適正であると認めました。

平成 10 年 4 月 15 日

監 事 小 川 弘 印

◆議案第 3 号 平成10年度事業計画

総務企画委員会

- 1 国際交流フェスティバル'98
と き 10月10日(祝)～11日(日)
ところ 富山市民プラザ
- 2 国内研修
- 3 国際交流研修会参加
- 4 国際交流 T C A カレッジ
- 5 '99新春国際交流のつどい
- 6 とやま国際フェアへの出展

姉妹友好都市委員会

- 1 友好都市（秦皇島市）への親善・囲碁訪問
団派遣
- 2 姉妹友好都市からの訪問団との交流会
- 3 友好親善奨学金の支給

地域交流委員会

- 1 日本伝統文化の紹介
- 2 「地図で歩く世界の旅」

ボランティア委員会

- 1 ボランティア養成講座
- 2 ボランティア座談会
- 3 外国人お嫁さん交流会
- 4 ホームステイ・ホームビジットの受け入れ等
- 5 ボランティア支援事業協力

広報委員会

- 1 広報誌 T C A - N E W S 発行
(4・7・10・1月一年4回)

国際教養委員会

- 1 国際教養合同講座
- 2 一般研修講座（4 講座 9 教室）
①「海外視察・教養語学講座」②「日本文化理解講座」③国際教養専門講座④「中国語講座」
- 3 J E T 青年との近郊探訪交流
- 4 国際教養サロンクラブ

語学講座事業

- 1 日本語・中国語・ハンゲル講座
- 2 ボランティアによる日本語支援事業

その他

- 1 外国人の相談業務
- 2 翻訳・通訳
- 3 事務局職員の講師派遣

◆議案第4号 平成10年度収支予算

〈収入〉

科 目	平成10年度	平成9年度	増△減	説 明
1 会費収入	2,630	2,448	182	
1 個人会費	1,530	1,368	162	3,000円×510口=1,530,000円
2 団体・法人会費	1,100	1,080	20	10,000円×110口=1,100,000円
2 事業費収入	902	759	143	
1 総会懇親会費	200	160	40	2,500円×80人 = 200,000円
2 国内研修参加費	200	200	0	10,000円×20人 = 200,000円
3 '99新春国際交流のつどい参加費	180	145	35	2,000円×60人 = 120,000円 1,000円×60人 = 60,000円
4 日本語講座受講料	80	90	△10	5,000円×16人 = 80,000円
5 中国語講座受講料	112	64	48	4,000円×28人 = 112,000円
6 ハンダ講座受講料	40	20	20	4,000円×10人 = 40,000円
7 翻訳手数料	90	80	10	
3 補助金収入	3,198	3,600	△402	
1 富山市補助金	3,198	3,600	△402	
4 受託料収入	4,818	4,972	△154	
1 富山市受託料	4,818	4,972	△154	英語・中国語相談業務、補助業務受託料
5 寄付金	10	20	△10	
1 寄付金	10	20	△10	
6 雑収入	250	230	20	
1 雑収入	250	230	20	自動販売機手数料、預金利子
7 繰越金	53	3	50	
1 繰越金	53	3	50	
合 計	11,861	12,032	△171	

〈支出〉

科 目	平成10年度	平成9年度	増△減	説 明
1 管理費	6,468	6,438	30	
1 会議費	550	602	△52	総会費（会場費上料） 80,000円 （懇親会費） 3,500円×100人 = 350,000円 （講師謝礼） 30,000円 （講師旅費、宿泊代） 40,000円 小計 500,000円 理事会費（会議諸費） 1,500円×20人 = 30,000円 専門委員会費（会議諸費） 1,000円×2回×10人 = 20,000円 計 550,000円
2 人件費	4,868	4,736	132	外国人相談員（常勤職員分）（非常勤職員分） 給料・賃金・手当・事業主負担分保険料等 4,053,000円 役員等補助業務員賃金・事業主負担分保険料等 815,000円 計 4,868,000円
3 需用費	1,050	1,100	△50	消耗品費（コピー用紙他） 160,000円 印刷製本費（総会資料、名簿、封筒他） 270,000円 食糧費（お茶、コーヒー他） 100,000円 通信運搬費（郵送料他） 200,000円 旅 費（県内、県外出張） 80,000円 備上料（パソコンリース料他） 180,000円 負担金（北陸都市国際交流連絡会他） 15,000円 〃（各種団体） 30,000円 諸 費 15,000円 計 1,050,000円
2 事業費	5,378	5,551	△173	
1 総務企画事業	2,140	2,365	△225	国際交流フェスティバル'98 開催負担金 1,000,000円 国内研修事業費（1泊2日） 金田市 20,000円×20人 = 400,000円 国際交流関係研修会費 （静岡市、名古屋市） 35,000円×2回 = 70,000円 国際交流TCAカレッジ （講師謝礼、旅費、会場費上料） 30,000円×60人 = 60,000円 99新春国際交流のつどい 外国人60人、日本人60人 3,000円×120人 = 360,000円 とやま国際フェアー出展事業費 250,000円 計 2,140,000円
2 姉妹友好都市交流事業	750	750	0	友好都市親善訪問助成費（富山県市） （旅費・通訳・交流会・報告書作成費の一助成） 450,000円 姉妹友好都市訪問団交流会 （ゲーム、楽善島市等） 200,000円 友好親善奨学金（富山県市） 100,000円 計 750,000円
3 地域交流事業	200	150	50	日本伝統文化、外国文化の紹介 （書道、日本舞踊、産物、茶道、越中おわら、大正琴と書つき、外国芸能） （材料費、その他） 50,000円×1回 = 50,000円 （ ） 20,000円×5回 = 100,000円 地図で歩く世界の旅 5,000円×2回 = 10,000円 （チラシ印刷、郵送料） 20,000円 計 200,000円
4 ボランティア事業	90	100	△10	ボランティア養成講座 事業（講師謝礼、旅費） 7,000円×5回 = 35,000円 ボランティア座談会 5,000円×2回 = 10,000円 外国人お姉さん交流会 4,000円×8回 = 32,000円 郵送料、その他 13,000円 計 90,000円
5 広報事業	960	1,085	△125	TCA-NEWS発行費 （印刷費） 170,000円×4回 = 680,000円 （郵送料） 65,000円×4回 = 260,000円 （ニュース取材用諸費） 20,000円 計 960,000円

（単位：千円）

科 目	平成10年度	平成9年度	増△減	説 明
6 国際教育事業	342	261	81	国際教育合同講座 （外国人講師謝礼） 10,000円×3回 = 30,000円 一般研修講座 （外国人協力者助成費） 3,000円×25回 = 75,000円 （中国語日常会話入門、初級講座） （中国人講師謝礼） 2,000円×24回×2人 = 96,000円 J E T 青年との近郊探訪交流 （貸切バス） 55,000円 （外国人弁当、入場料） 2,000円×15人 = 30,000円 国際教育サロンのクラブ （外国人講師謝礼） 3,000円×8回 = 24,000円 （ ） 8,000円×2回 = 16,000円 各クラス資料、消耗品 2,000円×8クラス = 16,000円 計 342,000円
7 語学講座事業	896	840	56	日本語講座 （講師謝礼） 5,000円×34回×2クラス = 340,000円 中国語講座 （講師謝礼） 7,000円×34回 = 238,000円 ハンダ講座 （講師謝礼） 7,000円×34回 = 238,000円 ボランティアによる日本語講座支援事業 （講師旅費） 500円×40回×4人 = 80,000円 計 896,000円
3 予備費	15	43	△28	
1 予備費	15	43	△28	
合 計	11,861	12,032	△171	

◆議案第5号 任期満了に伴う役員の選任について

〈役員名簿〉

役職名	氏 名	所 属 団 体 及 び 役 員 名	担 当 委 員 会
会 長	久保田 照雄	富山商工会議所会頭	
副会長	西田 東作	富山県中小企業団体中央会会長	
副会長	水口 昭一郎	富山市民の翼の会会長	
副会長	吉友 嘉久子	第1回富山市婦人海外派遣団団長	
理 事	大崎 和紀	富士メリヤス（株）取締役社長	姉妹友好都市
理 事	小川 弘	（財）北陸経済研究所専務理事	広 報
理 事	奥井 健	富山冷蔵（株）代表取締役社長	総 務 企 画
理 事	黒崎 泰幸	富山市翼の会会長	姉妹友好都市
理 事	高沢 規子	富山商工会議所婦人会会長	ボランティア
理 事	西野 尚典	（株）不二越 総務部長	
理 事	新田 八朗	（社）日本青年会議所会頭	
理 事	野崎 勉	北陸電力（株）取締役富山支店長	国 際 教 養
理 事	能登谷 久公	富山県留学生等交流推進会議運営委員	
理 事	橋本 敏宏	日伯親善富山市民翼の会会長	
理 事	廣田 憲一	富山市中学校長会会長	国 際 教 養
理 事	堀江 耕一	堀江硝子（株）代表取締役社長	地 域 交 流
理 事	堀田 正剛	富山商工会議所青年部会長	ボランティア
理 事	本保 勝弘	富山市美術作家連合会事務局局長	地 域 交 流
理 事	政二 俊子	富山市女性団体等連絡協議会会長	
理 事	横田 茂	富山県青年海外協力隊を育てる会会長	総 務 企 画
監 事	小川 しげみ	ウィメンズ・ウィング・トヤマ会長	
監 事	中田 義一	前富山市社会福祉協議会専務理事	
参 与	松岡 一	前富山市民国際交流協会事務局局長	

（五十音順）



懇親会 8 F キャッスル

以上 平成10年度富山市民国際交流協会総会要旨。なお、総会の資料は協会事務局にあります。

地図で歩く世界の旅

第3回 中国「京 劇」

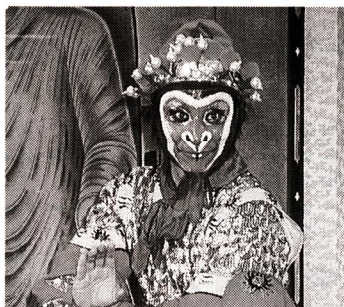
旅の案内人 陳 建 強さん



豪華けんらんな舞台衣装に身を包み、顔いっばいに隈取りをした役者。甲高い歌声、厳しい武術の立ち回り。騒々しく打鳴らされるお囃子。

京劇は清王朝の宮廷で愛され、その後広く市民にも親しまれて、今や国劇として中国の伝統文化を代表します。浙江京劇で主役俳優として活躍された陳建強さんの巧みな解説と鮮やかなステージを楽しみました。

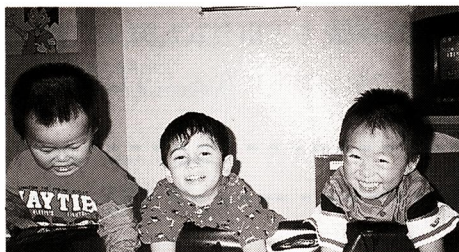
5月24日 当センター会議室



外国人お嫁さん交流会

日本の男性と結婚した人、家族で富山に生活している人など外国のお嫁さん達に日本の生活習慣、文化、食生活などを紹介したり、また、いろいろな悩みや相談を通して、交流しております。今回はお弁当作りをしました。農家に嫁ぎ、両親と同居している人たちも多く、当教室に弁当・着付け・お花・季節料理などの希望がありました。

5月28日 エルフ



'98とやま国際フェア

—世界観光と物産展—

人が、物が、情報が、行き交う国際化時代にふさわしいビックな催しが開催されました。ヨーロッパに、アジアにちょっと旅した気分でお土産も…?



6月19日～21日 富山テクノホール

協会の活動や国際交流について、日頃、思うこと……

(理事の方々に寄稿をお願いしました。)



『日本の英語教育』

橋本 敏宏 理事

私等の年代は、どういうわけか語学を苦手としている人が多い(もちろん得意な人もいる)。そのせいか、なんとなく国際交流の場をさけてしまう。

日本の英語教育は、中・高・大学と10年間もありながら、卒業してすぐに現実の英会話のできる人が非常に少ない。教育方法に問題があるのか、それぞれの努力が足りないのか、いづれにしてもここに日本の国際交流の弱さがあるのではないかと思う。

国際交流の基本である外国語をどうマスターしていくか、教育方法の問題を含めて考えて行くべきでなかろうか。



『すてきな国』

新田 八朗 理事

今年は、社団法人日本青年会議所の会頭を務めていることもあり海外に出る機会も多い。5月までに台湾・韓国・フィリピン・アメリカ・ボリビア・コートジボアール・ウズベキスタン・マカオを訪れた。

目的は、ほとんどが会議である。そして、夜は毎晩レセプションが用意されている。いきおい、観光やショッピングをする時間はまずとれない。「それで楽しいのか」と聞かれる。もちろん楽しいに決まっている。どこに行っても新しい人たちと会えるからだ。そして、その人たちから家族や地域や国のことを聞くのが楽しい。たとえ、名所を見ることができなくても、たとえ、名物を買うことができなくても、アドレス帳に増えていく知人の、そして、友人の名前が財産だ。

思い返してみると、空港やホテルやコンベンション施設のことはあまり記憶に残らず、その地域を、その国を愛している一人でも多くのすてきな人たちと出会った国が「すてきな国」である。

こんなことが富山の国際交流を考える上でもヒントになるような気がする。



『約 束』

西野 尚典 理事

3年前、6ヵ月間の技術研修を終えたブラジル、フィリピンの青年とお別れの食事をした。たどたどしい日本語と英語、ポルトガル語、それにタガログ語が入り交り、お互いに一安心の空気が流れていた。

2次会へ繰り出した。サンバ、ジャズ、歌謡曲…それぞれのお国柄、民族の色がより鮮明になった。そして、お互いに心の中で尊敬しあい、理解が一段と深まったように思う。

言葉は飾りをまとうことが多いが、メロディによせる音声は、内面を率直に見せてくれる。

いずれかの時に、彼の地を訪ねることを約束した。

お知らせひろば

海外研修 中国

秦皇島市親善訪問・囲碁訪問参加者募集

と き 9月12日(土)～19日(土)
訪 問 地 秦皇島市・北京・西安
参加費用 210,000円
募集人数 約25名(うち囲碁愛好者10名－秦皇島市民
と囲碁交流を楽しみます。)
募集期間 7月31日(金)まで

国際交流フェスティバル'98

県内の国際交流・協力団体や在住外国人が一堂に会し、
展示や発表、各国芸能披露、食文化交流などを通して、国
際交流・協力活動の情報を広く提供するとともにそれぞれの
活動がさらに発展し、活性化することを目指して開催さ
れます。

と き 10月10日(木) 午後1時から
11日(金) 午後5時まで
と ころ 富山市民プラザ・大手モール
内 容 ◇ステージ公演
◇国際交流団体活動紹介
ブース・各団体の自主企画
◇国際協力フォーラム
◇各国料理紹介・国際食文化交流
主 催 国際交流フェスティバル'98実行委員会

日本伝統文化の紹介と実技講習

- 講 座 越中おわら節
と き 7月26日(日) 午後1時30分
と ころ 当センター会議室
- 講 座 日本舞踊
と き 9月27日(日) 午後1時30分
と ころ 当センター会議室

ボランティアによる日本語講師募集

協会では、結婚や仕事などで富山に住む外国人(主
に主婦)を対象として、ボランティアによる日本語グ
ループレッスンをしています。

学習希望者は多いのですが、講師が不足しています。
資格は問いません。未経験者・興味のある方もご連絡
下さい。

※1回(約2時間)／800円(交通費)を支給します。

出場してみませんか！

「第10回国際英語弁論大会 in TOYAMA」

と き 10月18日(日)
と ころ 北日本新聞ホール
募集期間 8月27日(木)まで

ロシアの子どもたちに靴を！

ロシア・ハバロフスク市「子供の家」の園長から子
どもたちの靴・遊具・文房具などが不足し大変困って
いると、協力依頼がありました。

「子供の家」では、3～8歳までの120人が暮らして
います。

みなさまから寄せられた厚意は、平和基金財団を通
して送ります。

募金にご協力下さい！ 沙漠に緑を

鳶の会(会長 西川俊男)では、「中国内モンゴル地
区沙漠緑化運動」を進めています。

沙漠植林ボランティア協会の募金にご協力をお願い
します。

※モンゴルでは沙漠は砂漠を意味します。

会員のみなさまへ 会費納入のお願い！

- 会 費 1口 3,000円(個人)
○納入方法 ・当センター窓口
・振込の場合は 北陸銀行市役所出張所 口座「富山市民国際交流協会」普通預金 No.4076440
○納入期限 ・12月末日まで

お問い合わせは当協会まで TEL 0764(42)1109 FAX 0764(42)3807

駐中国大使来富

「最近のアジア情勢と日本」

駐中国大使 谷野 作太郎氏

前印度日本国大使時代の体験から、広大な国土と人口大国インドへの関心をもっと持ってもらいたいと例をあげて強調されたことが印象的でした。

また、富山にゆかりのある大使は、昔の思い出をなつかしく話されました。



4月17日 名鉄トヤマホテル

「'98アースディ 富山」



4月19日 富山城址公園

「森と親しむ」をテーマに今年で8回目を迎え、リサイクル品の販売やコンサートなどのイベントを通して、“地球環境を考えよう”と、78団体が参加しました。



第3回「とやま国際草の根交流賞」

地域に根ざした国際交流活動や国際協力活動を通じ、富山県の国際化に貢献された6団体、5個人の方々が受賞されました。



5月15日 とやま国際センター

バザー

～留学生のための生活応援～

ボランティアグループ T・H・H (トヤマハンドインハンド) は会員が持ち寄った食器や日用品、衣料、布団などのバザーを行いました。

13回目を迎えた今回も、買物や交流を楽しむ多勢の留学生たちによろこばれました。

T・H・Hは第3回「とやま国際草の根交流賞」(団体)を受賞されました。



4月5日 留学生会館

森林浴とバーベキューで

楽しく交流 6月21日

W・W・T(Women's Wing Toyama)では富山在住の外国の人たちと、とやま古洞の森で楽しく交流し、友好を深め合いました。



編集後記

サッカー ワールドカップ フランス大会は世界中をわかせました。多くのサッカーファンは、時差7時間のフランスで行われた試合を、家でくつろぎながら観戦し興奮して応援されていることでしょう。いま、世界中、距離ゼロ、時間ゼロのコミュニケーションが可能となります。

そんな、いま、私たちは世界中のことをどれくらい知っているでしょうか。

世界中の平和のために私たちは、もっと関心を持って世界中の多くのことを知って、わかり合って、たすけ合って、そして、よろこぶことを、かなしむことを、共にできるような国際交流・国際協力をすすめていきましょう。

では、みなさまからのご投稿をお待ちしております。

広報委員長 岡田 昌代